

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育内容研究				
担当者氏名	荘司 泰弘				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

Rousseauの家庭教師像、Pestalozziの教師像、Fröbelの保育教諭像、Montessoriの指導者像、Steinerの保育者像を辿り、保育教諭として将来自分が目指したいガイドラインを探求する。

《テキスト》

オンライン講義の資料を対面形式で使用する。

《参考図書》

幼保連携型認定こども園教育・保育要領  
[https://www.mhlw.go.jp/web/t\\_doc?dataId=00010420&dataType=0&pageNo=1](https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00010420&dataType=0&pageNo=1)

《授業の到達目標》

こどもと一緒に同じ活動を同じ場所であることがなぜ援助や支援になるのかを考え、こどもに寄り添う意義を理解する。

《授業時間外学習》

倉橋惣三の『育ての心』を読み、多文化共生やインクルーシブ保育の視点を学んでおいてください。

《成績評価の方法》

試験 60% 平常点 40%

《備考（教員経験の有無）》

保育教諭を目指す方はぜひ受けてください。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	乳幼児を対象にしたこども園と児童が対象の小学校の教諭像の違いについて説明する。
2	環境による援助 ①	自然の教育を提唱したRousseauの家庭教師像を『エミール』を中心に解説する。
3	環境による援助 ②	保育教諭に必要なこども自身が活動するための関わり方を考える。
4	人間教育 ①	小学校の創始者Pestalozziの教師像を『ゲルトルート児童教育法』を中心に解説する。
5	人間教育 ②	保育教諭が指標とする人間性（愛・感謝・信頼・純心）の教育を考える。
6	先に生きるこども ①	こども園の創始者Fröbelの保育教諭像を『幼稚園教育学』を中心に解説する。
7	先に生きるこども ②	保育教諭が大人や教師の役割をするのではなく、「遊ぶ大人」であることを考える。
8	早期英才保育 ①	こどもの家の創始者Montessoriの指導者像を『こどもの心』を中心に解説する。
9	早期英才保育 ②	保育教諭が調整した教材遊具がこどもと個別に関わる意味を考える。
10	感性保育 ①	森の学校の創始者Steinerの指導員像を『神智学』を中心に解説する。
11	感性保育 ②	保育教諭がこどもの感性をたかめるために自己の感性を修養することを考える。
12	キリスト教保育 ①	幼児教育がキリスト教の宗教保育であることを解説する。
13	キリスト教保育 ②	保育教諭が各自の宗教や信念をどのように保育に結び付けるかを考える。
14	インクルーシブ保育	保育教諭として障がいや異なる文化をどのように保育に受け入れるのかを考える。
15	まとめ	多文化共生保育の視点から試験を課す。